

令和4年度事業報告書（案）

（令和4（2022）年4月1日から令和5（2023）年3月31日まで）

【当期活動の概要と今後の対応】

1. メイクボランティア活動（P2）

コロナ以降、メイクボランティアを中止していたが、今年度になって、障がい者施設やデイサービス施設からメイクボランティアの希望があり、「メイクボランティア感染拡大防止ガイドライン」に基づいた感染対策を徹底し、参加人数も最小限にしたうえで実施した。今年度の訪問回数は3回。高齢者施設への訪問が再開しないため、年100回のペースに戻るには、相当の時日がかかるものと思われる。

「感染拡大防止ガイドライン」については、5類移行後の状況に合わせて、見直しを行いたい。

メイクボランティア講習会は、メイクボランティア活動が本格的に再開しないので、今年度も開催を見送った。そのため、新規入会者がほとんど増えず、今年度も会員数は減少することになった（当年度の会費納入済み正会員数は239名（前年比24名減））。

2. 調査研究活動（P2～3）

「社会的支援を必要とする高齢者へのメイクアップを用いた高齢者・支援者双方のQOL向上の試み」について、「福祉系活動の援助成果へ影響を与えるアサーション力とコミュニケーションスキルの役割～ボランティア体験の有無からの検討～」（暫定版）を取りまとめた。コロナ前にメイクボランティアを通じて収集した高齢者の表情データについて、今後どのようにまとめていくか、担当の佐藤教授との対話を再開した。既に発表した論文に追加する内容をまとめたい。

3. 普及啓発活動（P3～P4）

昨年度に続き、感染拡大防止のため、大人数が一堂に会するシンポジウムは中止し、代わりに、会場およびオンラインを併用した小規模のセミナーを3回開催した。今後もこの小規模セミナーを3～4ヶ月に1回のペースで開催予定。

4. 情報誌発行事業（P4）

年4回の会報誌発行・ホームページでの情報発信を行った。今後も継続する。

5. メンタルメイクセラピスト[®]資格認証事業（P4～5）

「メンタルメイクセラピスト[®]検定公式テキスト〈学科編〉」を、2023年3月31日付で発行した。今後、告知や販売等を行っていく。

検定試験については、2022年5月に第3回3級試験を大阪で、11月に第4回を東京で開催した。2年近くのブランクがあったためか、受検者も少なく、第3回は4名、第4回は2名に留まった。次年度の5月に開催の第5回3級試験について、3月から募集開始している。

また、4級については、引続きWEB検定を実施しているが、こちらも受検者はあまり増えていない（今年度の合格者は2名）。来年度は、大学1校について、4級試験をカリキュラムに取り込むことになった。

1. メイクボランティア及びメイクボランティア講習

(1) メイクボランティア

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年3月からすべてのメイクボランティアを中止していたが、2022年5月に大阪の障害者向け福祉施設にて約2年ぶりとなるメイクボランティア活動を行い、2023年1月にも同施設で2回目の活動を実施した。ボランティアもメイク参加人数も今までより制限し、「メイクボランティア感染拡大防止ガイドライン」に基づく「新しいメイクボランティア方法」でメイクを行った。また、東京都内のデイサービス施設（新規施設）からも依頼があり、2022年12月に実施した。

ボランティア参加者からは、「久しぶりのメイクを待ち望んでいる方がたくさんいらっしゃり、楽しくメイクさせていただいた」という報告が届いている。

今後、「with コロナ」へ移行してく中で、施設からの依頼も増えていくことを期待しているが、コロナ前の年間100件のペースに戻るには、まだ年単位で時間がかかると思われる。

また、今回のボランティアでも、直前や当日に家族の感染が判明してボランティア不参加という事態も発生したので、しばらくは参加者についても慎重な対応が必要となる。

<メイクボランティア活動まとめ>

- ① 2022年5月 大阪 参加ボランティア人数 3名 メイク施術人数 11名
- ② 同年12月 東京 参加ボランティア人数 2名 メイク施術人数 12名
- ③ 2023年1月 大阪 参加ボランティア人数 3名 メイク施術人数 11名

(2) メイクボランティア講習会

メイクボランティア活動の本格的な再開の目途が立っていないため、講習会開催も見合わせている。ただ、メイクボランティア講習会に参加したいという問合せも数多く来ているので、来年度には、オンライン開催も視野に入れて再開を検討していきたい。

2. 調査研究活動

(1) 「化粧によるストレス軽減効果に関する長期的観察」

調査活動は中断。再開について検討中。

(2) 「社会的支援を必要とする高齢者へのメイクアップを用いた高齢者・支援者双方のQOL向上の試み」(文化学園大学大学院 国際文化研究科 応用健康心理学研究室 産業・精神保健学 佐藤浩信教授との共同研究)

メイクボランティア活動を見合わせているため、新しいデータ取得はできていない。2023年1月に佐藤教授と面談し、以下の2点について確認した。

- メイクボランティアやメイク講座に参加した学生も含む、ボランティア活動に関心を持つ学生180名に対するアンケート調査(調査用紙はメイクボランティアの施術者側への影響を分析するために開発した)の分析結果を「福祉系活動の援助成果へ影響を与えるアサーション力とコミュニケーションスキルの役割～ボランティア体験の有無からの

検討～」(暫定版)として取りまとめた。

- ▶ これまでメイクボランティアを通じて収集した高齢者の表情データの取りまとめのための今後の進め方

前者については、分析結果をさらに精査し、セミナー等での発表を検討する。後者については、データの取りまとめを進め、高齢者に対するメイクの効果について、既に発表した論文に追加する内容をまとめたい。

3. メイク講座・セミナー・講演

(1) 更正保護法人「両全会」での講演(2023年1月)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年4月より見合わせていたが、2023年1月に、理事長による講演・メイクデモを行った。来年度(2023年4月以降)は、4月、7月、10月にメイク講座を開催予定。

内容:「メイクの効果」について理事長(かづきれいこ)による講演とメイクデモ

日時:令和5年1月16日(月)18:30~19:30

会場:更生保護法人 両全会

対象者:法務省より依頼を受けた更生施設に入居する、自立を目指す女性

参加人数:5名

4. 公開講座・シンポジウム・「顔と心と体」セミナー

2020年10月より、会場及びオンラインを併用した小規模のセミナー(「顔と心と体」セミナー)を開催している。今年度の開催状況は、以下のとおり。

(1) 第8回「顔と心と体」セミナー

日時:2022年7月2日(土)13:00~15:30

会場:東京都新宿区左門町20 REIKO KAZKI 東京本社 セミナールーム

参加:25名(1級資格者4名、3級資格者6名、4級資格者2名、当会正会員8名、一般5名)(会場2名、オンライン18名、DVD5名(※後日視聴))

講演者:古市佳央先生(オープンハートの会会長 / 一般社団法人きらきら代表理事)

「どんな人でも幸せになれる」

富田洋平先生(プルデンシャル生命保険株式会社 東京中央支社 エグゼクティブ・ライフプランナー / 日本FP協会会員(CFP))

「これからの日本、今、私たちが知っておくべき事」

(2) 第9回「顔と心と体」セミナー

日時:2022年10月22日(土)13:00~15:30

会場:東京都新宿区左門町20 REIKO KAZKI 東京本社 セミナールーム

参加:23名(1級資格者2名、3級資格者6名、4級資格者1名、当会正会員8名、一般6名)(会場4名、オンライン18名、DVD1名(※後日視聴))

講演者:田上順次先生(東京医科歯科大学名誉教授・統合国際機構特命教授 / 歯学博士 /

クオーツデンタルクリニック院長)

「白くて健康な歯で一生過ごすために」

～インプラント、セラミックに頼らない白い歯治療のすすめ～

東海林のり子先生 (元・芸能リポーター、フリーアナウンサー、著述家)

「年を重ねることを楽しむ法」～人生に絶体絶命はない～

(3) 第10回「顔と心と体」セミナー

日時：2023年1月28日(土) 13:00～15:30

会場：東京都新宿区左門町20 REIKO KAZKI 東京本社 セミナールーム

参加：26名(1級資格者4名、3級資格者9名、4級資格者4名、当会正会員8名、一般1名)(会場5名、オンライン20名、DVD1名(※後日視聴))

講演者：鈴木真理先生(政策研究大学院大学 名誉教授/跡見学園女子大学 心理学部 臨床心理学科 特任教授/一般社団法人 日本摂食障害協会 理事長(関東支部長))

「更年期の心と体」

中村優佳先生

(青山クオーツデンタルクリニック 歯科衛生士/クリニックマネージャー)

「お口の健口から全身の健康へ」

5. 情報誌等発行事業

(1) 会報誌の発行：第64号(6月)、第65号(8月)、第66号(11月)、第67号(2月)

(2) ホームページで当法人の概要・事業活動報告などを掲載

(3) メンタルメイクセラピスト®検定専用ホームページで検定情報などを掲載

6. メンタルメイクセラピスト®資格認証事業

(1) 公式テキスト(学科編)の発行

3月31日付で発行された。4月の発売に向けて、ホームページやチラシなどでの告知や販売の準備を進めて行く。

(2) 第3回3級試験

実施日：2022年5月14日(土) 12時30分～19時30分

場 所：大阪

応募総数：4

受験者数：4

受験者の男女比：女性：4 男性：0

受験者の平均年齢：53歳

受験者の属性：医療関係1、教育関係1、その他の会社・団体所属1、無回答1

公益社団・有限会社との関連：有3 無1

合格者数：4

合格率：100%

平均点：124.62（73.3%）（筆記試験：46.50（93.0%）、実技試験：78.12（65.1%））

(3) 第4回3級試験

実施日：2022年11月19日（土）

応募総数：4

受験者数：2

受験者の男女比：女性：2 男性：0

受験者の平均年齢：53.0歳

受験者の属性：医療関係2

公益社団・有限会社との関連：有1 無1

合格者数：2

合格率：100%

平均点：125.13（73.6%）（筆記試験：42.00（84.0%）、実技試験：83.13（69.3%））

(4) 4級WEB検定試験の運用

4級WEB検定試験の運用を行っている。会場での4級試験開催は基本的には行わず、受験希望者にはWEBでの受験を推奨していきたい。

今年度は、これまでに4名が受験し、3名が合格した。

累計では、申込者数26、受験者数25、合格者数16、合格率64%。

7. その他当法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 通常社員総会

日時：令和4年6月17日（金）18：15～

場所：REIKO KAZKI 東京本社

報告事項：令和3年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業報告の内容報告の件

決議事項：第1号議案 令和3年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）計算書類及び財産目録承認の件

第2号議案 理事9名及び監事2名選任の件

(2) 理事会の開催

(ア) 令和4年6月2日（木）※オンライン開催

I. 決議事項：第1号議案 入会申込者審査の件

第2号議案 令和3年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）事業報告書及び計算書類及びこれらの附属明細書、並びに財産目録承認の件

第3号議案 理事候補者9名及び監事候補者2名選定の件

第4号議案 通常社員総会招集の件

第5号議案 顧問選任の件

II. 報告事項：理事長の職務執行状況報告の件

- (イ) 令和4年6月17日(金) ※オンライン開催
 - I. 決議事項：代表理事(理事長)選任の件
 - (ウ) 令和4年11月10日(木) ※オンライン開催
 - I. 決議事項：顧問選任の件
 - II. 報告事項：理事長の職務執行状況報告の件
 - (エ) 令和5年3月8日(水) ※オンライン開催
 - I. 決議事項：第1号議案 令和5年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)事業計画(案)及び収支予算(案)等承認の件
 - 第2号議案 経費支出決裁の件
 - 第3号議案 顧問2名追加選任の件
 - II. 報告事項：理事長の職務執行状況報告の件
- (3) 正会員へ会費納入の案内発送
6月・8月・11月・2月の会報誌の発行と併せて実施
(会費納付会員数：239名 令和5年3月31日現在)

以上

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

以上

決算報告書

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

公益社団法人 顔と心と体研究会

東京都新宿区左門町 20 番地
四谷メディカルビル 5 F

貸借対照表

令和5年3月31日現在

公益社団法人 顔と心と体研究会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	10,734,080	20,882,851	-10,148,771
未収金	54,000	132,000	-78,000
未収金	0	0	0
貯蔵品	4,584	4,584	0
商標権	9,461,076	1,716,032	7,745,044
流動資産合計	20,253,740	22,735,467	-2,481,727
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
ソフ ト ウ ェ ア	157,682	239,951	-82,269
商 標 権	297,298	367,251	-69,953
その他固定資産合計	454,980	607,202	-152,222
固定資産合計	454,980	607,202	-152,222
資産合計	20,708,720	23,342,669	-2,633,949
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	9,830,802	887,636	8,943,166
前受金	21,570	26,400	-4,830
前受金	452,000	511,000	-59,000
預り金	146,590	9,126	137,464
流動負債合計	10,450,962	1,434,162	9,016,800
負債合計	10,450,962	1,434,162	9,016,800
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計		0	0
2. 一般正味財産	10,257,758	21,908,507	-11,650,749
正味財産合計	10,257,758	21,908,507	-11,650,749
負債及び正味財産合計	20,708,720	23,342,669	-2,633,949

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

公益社団法人 顔と心と体研究会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	902,000	1,043,500	-141,500
正会員受取会費	857,000	993,500	-136,500
賛助会員受取会費	45,000	50,000	-5,000
事業収益	340,740	519,530	-178,790
シンポジウム事業収益	210,480	456,330	-245,850
メイクボランテイング事業収益	15,000	0	15,000
メイクボランテイング事業収益	30,000	50,000	-20,000
検定事業収益	85,260	13,200	72,060
受取補助金	0	0	0
受取民間補助金	0	0	0
受取寄付金	189,360	24,261,052	-24,071,692
受取寄付金	179,360	24,261,052	-24,081,692
雑収益	10,000	0	10,000
雑収益	126	6,066	-5,940
雑収益	126	66	60
雑収益	0	6,000	-6,000
経常収益計	1,432,226	25,830,148	-24,397,922
(2) 経常費用			
事業費	8,838,572	7,239,739	1,598,833
給付料	5,569,600	5,400,075	169,525
福利厚生費	437,885	407,866	30,019
会費	30,164	1,074	29,090
旅費	158,436	29,694	128,742
通信費	198,095	216,331	-18,236
減価償却費	69,953	69,953	0
消耗品	15,916	13,604	2,312
印刷製本費	235,606	185,847	49,759
光熱費	64,152	83,457	-19,305
諸借入金費	1,618,300	284,100	1,334,200
渉外手数料	0	0	0
委託手数料	430,180	537,816	-107,636
支店費	5,060	6,072	-1,012
新管理費	5,225	3,850	1,375
管給料	4,244,403	4,080,355	164,048
福利厚生費	1,315,600	1,270,400	45,200
会費	109,470	101,978	7,492
旅費	4,581	0	4,581
通信費	175,313	170,682	4,631
減価償却費	103,818	95,718	8,100
消耗品	82,269	82,269	0
印刷製本費	33,871	31,740	2,131
光熱費	69,023	30,499	38,524
諸借入金費	122,422	139,194	-16,772
諸租税	1,218,954	1,150,524	68,430
委託手数料	0	0	0
支店費	3,350	3,350	0
管給料	827,820	847,674	-19,854
福利厚生費	1,912	1,527	385
会費	176,000	154,800	21,200
経常費用計	13,082,975	11,320,094	1,762,881
評価損益等調整前当期経常増減額	-11,650,749	14,510,054	-26,160,803
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-11,650,749	14,510,054	-26,160,803
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-11,650,749	14,510,054	-26,160,803
一般正味財産期首残高	21,908,507	7,398,453	14,510,054
一般正味財産期末残高	10,257,758	21,908,507	-11,650,749
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	10,257,758	21,908,507	-11,650,749

財産目録

令和 5年 3月31日現在

公益社団法人 顔と心と体研究会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管 普通預金 三菱UFJ銀行 郵便局	運転資金として	51,213	
	預金		運転資金として	10,682,867	
					5,829,519
					4,853,348
	未収会費		正会員に係る未収分	54,000	
	未収金		事業収益に係る未収分	0	
貯蔵品	切手在庫	4,584			
商品	書籍・ピンバッジ在庫	9,461,076			
流動資産合計				20,253,740	
(固定資産)	ソフトウェア	会計ソフト		157,682	
	商標権	メンタルメイクセラピスト他		297,298	
固定資産合計				454,980	
資産合計				20,708,720	
(流動負債)	未払費用	(有)かづきれいこ他	事業に係る経費未払分	9,830,802	
	前受金		検定料、セミナー参加費	21,570	
	前受会費		令和5年(2023年)度会費	452,000	
	預り金		源泉税、その他	146,590	
流動負債合計				10,450,962	
負債合計				10,450,962	
正味財産				10,257,758	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品、商品については個別法による原価法によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
商標権、ソフトウェアについては定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	411,345	253,663	157,682
商標権	699,528	402,230	297,298
合 計	1,110,873	655,893	454,980

附属明細書

貸借対照表及び正味財産増減計算書(損益計算書)には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第33条に規定する附属明細書「貸借対照表及び損益計算書の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。